

専攻科面接授業再開時の感染予防対策について

専攻科面接授業再開に伴う感染予防対策

1. 毎朝夕の健康観察と登校時のチェックの徹底
2. 手指消毒後の教室入室の徹底
3. 教室等内でのマスク（常時）やフェイスガード（必要に応じて）の着用の徹底
※フェイスガードは各自に1個配布します。
4. 座席間隔（できる限り2m）を空けた机の配置の徹底
5. 使用教室の常時2方向の窓開けや、45分おきに5分程度、窓を広く開けたり出入口ドアの開放による十分な換気の徹底
6. 共用の教材・教具・情報機器等の適切な消毒（使用前使用後の消毒）の徹底
7. 隔離室の確保（発熱者が出た場合は、即時に隔離して他の学生との接触を避ける）
8. 階段等手すり、実験室等ドアノブ、手洗い流し、トイレ便座等の除菌清掃を1日2回実施

登校に際しての心がけ

《自宅（詫間キャンパス寮）にて》

1. 毎日起床時及び夕食後、自宅（寮）にて体温を測定し、各自へ配付する健康観察シートに体温・健康状態等を記録して保管する。
2. 登校前に発熱等の風邪症状がみられるときは、学務課・学生課に連絡して休む（出席停止）。
※症状によって、自宅（寮生は帰省して）での静養またはかかりつけ医に受診する。
3. マスク及び体温計を持参して登校する。
4. 登校は、できる限りJRやバス等の利用は控える。

《登校後》

1. 登校後、創造工学専攻の学生は各コースの専攻委員に、電子情報通信工学専攻の学生は登校後その日に受ける最初の授業担当教員に体温等の健康状態を報告して確認を受ける。
登校前の体温測定を忘れた場合は、学務課・学生課にて体温を測定する。（学校の体温計で測定する場合は、消毒して使用すること。）
※発熱時期が発症時期の目安となるので、定期的な体温の計測は重要である。
2. 校長の許可を得た課外活動に参加する場合は、クラブ顧問から感染予防留意事項について指導を受け、それを遵守する。
3. 校内では必ずマスクを着用し、手洗い、手のアルコール消毒、咳エチケットを心がける。
4. なるべく大人数で集まらないように、人との間隔を開けるように心がける。
5. 昼食はできる限り弁当等を持参し、教室や屋外等に散らばって摂る。
※学生食堂は、閉鎖中。

《登校中に発熱・咳等の症状が出た場合》

1. 躊躇せずすぐに、専攻委員（高松）、授業担当教員等（詫間）に申し出て速やかに隔離室へ移動し、できる限り早く帰宅する。
2. 症状によって、自宅（寮生は帰省して）での静養またはかかりつけ医に受診する。